

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 5 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '市認定農業者育成事業' and '農林業の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about agricultural revitalization and support for farmers.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and performance indicators (28-32年度) for '事業回数', '認定農業者数', and '会員の交流機会'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs (事業費) for 28, 29, and 30 years, categorized by source (国庫, 県, 地方債, etc.) and personnel costs (人件費).

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of business costs) comparing 29-year actuals and 30-year budget across various categories.

(4) 当該年度の実施内容

Table for '当該年度の実施内容' (Implementation content) for 30, 31, and 32 years, including a list of main activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	市認定農業者育成事業	事務事業No.	40101000813	所属課	農林課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
<ul style="list-style-type: none"> 平成5年の国による認定農業者制度の創設に伴い、認定農業者の組織化を図る必要性が生じたことに加え、会員の経営技術の向上を目標とした積極的な活動を推進していくために開始された。 桜川市認定農業者連絡協議会については、平成21年11月13日に設立され、講演会や視察研修を通して多くの農業者が経営を行っていく上での知識や能力を磨いている状況にある。 	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者の高齢化が進行しており、経営規模の縮小や身体の不調等の理由により、認定の更新を辞退したいという者がいる一方で、新規に認定農業者となり、地域の中心となる経営体を目指す農業者もいる。 後継者のいない認定農業者や兼業農家も増加傾向にある。 認定農業者が交流を深めることのできる貴重な組織の一つとなっている。 	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	農業には、一年を通して繁忙期が多々あるため、研修会等の開催時期と重なる場合には、出席することが困難な状況となる。出席率が上昇するように、認定農業者の意向に配慮し、開催時期を設定する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 農業の振興につながり、担い手の育成・支援を図ることができる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 認定農業者相互の交流の促進を図り、農業の振興を推進していくため、市が中心となり運営すべきものである。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 総会、各講演会、視察研修及び経営相談会等への出席率が低いため、参加率を上げる必要がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 認定農業者相互の交流の機会が減少することに加え、農業経営技術を向上させるための活動が鈍化し、農業の振興に対して悪影響が出ることが懸念される。担い手から後継者への技術の継承にも負の影響が生じる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 平成26年度より市補助金が廃止され、会員の会費のみで運営しているので、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 情報の伝達等に関しては、全会員に行っているため適正である。また、農業経営改善計画の認定申請についても、年齢や経営規模の大小を問わず、受け付けていることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	総会、講演会及び視察研修等への参加率が低い水準にあるため、開催時期や内容を含めた検討が必要である。 引き続き、担い手の育成に尽力していく。 今後も、農業生産基盤の保全や、後継者の確保等に重点を置き、認定新規就農者が増加するように支援策を講じる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
総会、講演会及び視察研修等への参加率が低い水準にあるため、開催時期や内容を含めた検討の場を設けるが必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認